

やまと

いさお

大和 勲

For ISESAKI ～ 伊勢崎・群馬のために～ & GUNMA

県政
報告書 10



令和元年11月29日山本一太知事を含め6名の県執行部に質問を行いました。①子育て支援と保育士等の確保 ②外国人との共生 ③健康寿命の延伸 ④認知症施策 ⑤ダムの前放流や地元堀口町交差点の改修を取り上げました(写真左)。その結果、外国人との共生月間が、今年度制定される運びとなりました。

『初当選以来6回目の一般質問』

平成30年度決算を総括して、質疑を行いました。内容は、①個人県民税の徴収対策(写真下) ②税外収入の確保 ③法人の県民税・事業税の確保 ④民間活力を利したエコ事業の取組 ⑤第3期医療費適正化計画の取組について取り上げました。税外収入の確保について取り上げた「ネーミングライツ(公共施設などの命名権)」が、今年予算方針として組み込まれました。

『決算総括質疑』



ふるさとの、群馬の発展願う

群馬県議会議員 大和 勲

令和2年度もよろしくお願い致します。毎年度5月に15会場で実施している県政報告会は、コロナウイルス感染防止の為、今年度は延期致しました。その代わりに、この県政報告書を用意致しました。配布させて頂きます。



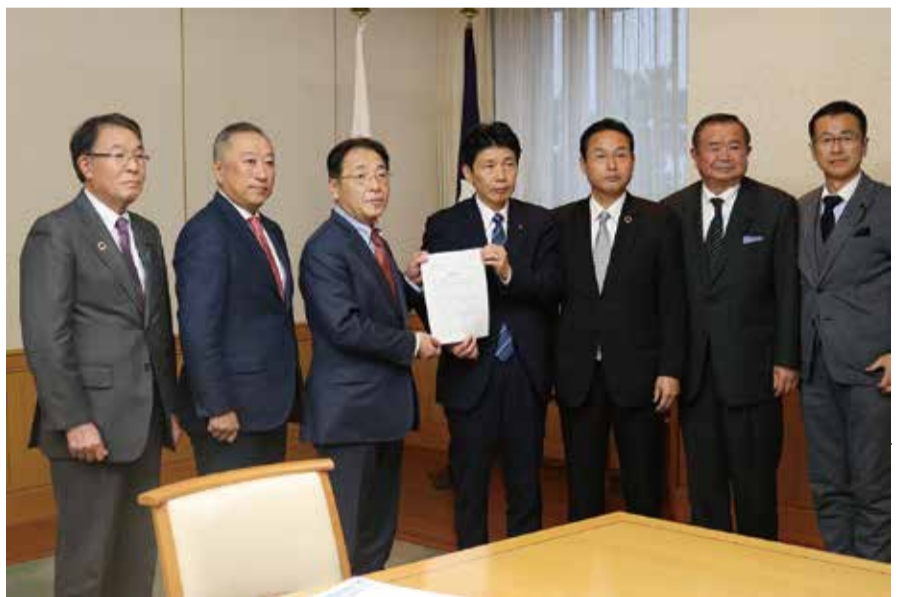
自民党群馬県連は、3月5日新型コロナウイルス感染症防止対策本部を設置しました。3月10日には、山本一太知事に①知事会見に手話通訳者を導入 ②PCR検査体制の強化 ③マスク配布の3点を緊急提言しました(写真下)。
県議会では会期を延長し、防止対策の補正予算について審議しました。厚生文化常任委員長として、各委員の質疑並びに県執行部答弁を通して、入院患者受入れ医療機関確保事業(5200万円余)や生活福祉資金貸付事業(4億7000万円弱)などが全委員賛成で可決と成りました。また、4月23日にも、常任委員会を開催し、現状の対応状況や事業の執行状況などを確認しました。

『新型コロナウイルス感染拡大防止』

熊谷ラグビー場にて



今から37年前 県立桐生高校時代は、ラグビー部に所属し、ポジションはSO(スタンドオフ)をしていました。3年生の高校総体では、県で3位になりました。懐かしの桐高ジャージ(レプリカ)を着て、記念写真です。



- 群馬県新型コロナウイルス感染症コールセンター
☎ 0570-082-820 (受診や予防方法等の相談)
- 感染症対策県内企業ワンストップセンター
☎ 027-226-2731 (資金繰り・雇用等の相談)

県政の課題に対する取組と提案 に対する達成状況平成31年度及び令和元年度分

(平成27年・28年・29年・30年の実績はホームページに記載してあります)

民間企業に勤めた経験を活かした 行財政改革の推進

- ・ 税収入の確保(特別徴収率の向上・収納方法の多様化)
→H30年度決算質疑(R元年10月25日)において、個人県民税確保や外国人に対する税制度の理解向上について質疑を行う
- ・ 税外収入の確保(ふるさと納税額向上・広告収入の確保)
→決算質疑において、マイナス入札なども研究した県有未利用地処分の推進、自動販売機の入札制度の更なる活用を提案
- ・ 官民連携による経費の抑制・適正化(PPP・PFIなど活用)
→H26年一般質問や決算質疑にて、エスコ事業(民間資金・ノウハウを活用した省エネルギー改修)の積極的な導入を提案→H30年度は県立女子大、R元年度は県立館林美術館が事業実施に伴う契約締結となった
- ・ 職員提案制度の活用(当事者意識の醸成と人材(財)の活用)
- ・ 県行政改革大綱実施計画の推進
→H29年6月一般質問で、公用車の管理状況、条例一斉点検、庁内テレワークの進捗、資産の適正管理など質す→R2年4月から伊勢崎行政県税事務所内においてテレワークが出来る環境整備が完成(写真右)



未来の不安を解消する 医療費の適正化

- ・ 県民の健康づくり、健康寿命の向上と予防医療の取組み
→決算質疑にて、第3期医療費適正化計画の進捗を質す
→R元年11月14日神奈川県が取組んでいる「未病」に関して調査
→R元年11月29日 一般質問にて健康寿命延伸に向けた企業や県内大学との連携について質す(写真右)
- ・ ジェネリック医薬品の使用構成比向上の推進
- ・ レセプトデータを活用し医療費・医薬費の適正化の取組み
- ・ 健康経営(ヘルスマネジメント)意識の醸成と推進



定住人口増加に向けた取組み で力あわせる200万

- ・ 自然や環境の素晴らしさ、首都圏近郊の利点をPRし移動人口の増加
→機会あるごとに、移住相談体制や件数、移住を促進する動画やポスターの活用など質す
- ・ 群馬県のブランド力向上・資源活用(県民皆様の発想や発信力の活用)
- ・ 中学生まで医療費無料のアピール
- ・ 子育て支援の充実
子ども子育て新制度の定着及び実態の調査
保育士等の確保と職員の処遇改善
→R元年度厚生文化常任委員会の県外視察で、愛知県の保育士・保育所支援センター訪問。自民党厚生部会団体政調会にて、県保育協議会・日本保育協会群馬支部から要望聴取→R元年11月 一般質問にて、同支援センター設置を要望(写真上)→R2年度設置至らず。一方で、団体要望の保育士等離職者の復職支援として、就職準備金貸付制度開始
放課後児童クラブの制度充実
→R2年4月茂呂小学校区にあおば児童クラブ第5(写真下)、境東小学校区にたけのこ児童クラブを開設



児童養護施設及び入所児の支援

- R元年度自民党厚生部会団体政調会(写真右)にて、児童養護施設関係者から家庭支援専門相談員の増員の要望聴取
→R2年度増員予定の予算計上となる

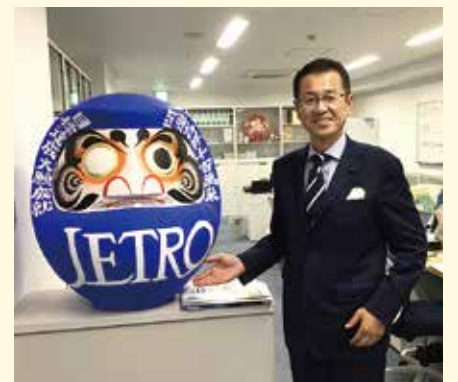


こども食堂開設支援

- R元年度子育て・青少年課に新規配属されたコーディネーターにより、知人企業の食材を有効活用につなげる

産業振興の提案(雇用の確保)で地元企業を元気に

- ・ 中小企業振興条例の研究
- ・ 企業誘致を図る産業団地の推進(栃木県産業団地面積の半分程度にとどまっている)及び優遇措置の研究・提案
- ・ 総合評価落札方式など地元企業が受注しやすい制度を研究・提案
- ・ 農業法人や農業経営の研究・提案
→H31年3月 所属していた農林環境常任委員会にて「群馬県鳥獣被害対策の推進に関する条例」を委員会発議により制定
- ・ 企業サポートぐんまの活用
→H30年2月一般質問で質した「企業サポートぐんま」の周知の取組について、決算質疑で確認。来訪者は、産業支援センターは前年度比11%増加。産業支援機構は同16%増となる
- ・ 事業継承→H30年2月一般質問決算質疑で、支援状況を確認。改めて、技術力ある中小企業の事業承継支援を要望
- ・ 決算質疑にて、更なる輸出拡大に向け、高崎市にある「ジェトロ群馬貿易情報センター」の活用及び周知を要望(写真右)



教育行政の充実で将来を担う人材育成

- ・ 学力の向上と体力の向上
- ・ いわゆる貧困の連鎖を解消するための、生活困窮世帯の学習支援
- ・ 郷土芸能・文化の保護育成(地域活動への積極的な参加促進・日本の文化や道徳心の素晴らしさの再認識)
→名和・豊受・茂呂・境伊与久地区の各区長へ、県の文化支援事業のパンフを案内→R元年度は、茂呂地区にある屋台囃子5基に対して事業採択。R2年度に関しても、後援会ある地区には、配布済み
- ・ 規則正しい生活習慣の確立(ノーテレビ・ノーメディアの日制定の働きかけ、スマホの利用教育など)→R2年2月「ネット依存を予防するシンポジウム」参加。依存症を生む要因や予防策を学ぶ
→自民党県議団図書館振興研究会に所属。群馬県民の読書活動の推進に関する条例に取組む→H31年3月議員発議により制定
→地域振興調整費補助金を活用し、戸谷塚町に伝わる「夜泣き地蔵」の物語を知って頂くため、お堂に印刷物掲示と紙芝居作成の支援を行う(写真右)



多文化共生のまちづくり

- ・ 外国人生徒・児童の学習支援
 - R元年度は、外国人との共生に関する特別委員会に所属。委員会にて、外国人児童生徒の教育に関する検討会進捗状況の確認、その検討会の内容や知見を広く県内小中学校に周知するよう提案し、知事への提言書に取り入れられる
- ・ 外国人が活躍できる制度の充実

高齢化社会に向けた取り組みで笑顔一杯

- ・ 生きがいのある高齢者生活の提案・制度作り(ボランティア活動や地域の居場所作り)
- ・ 高齢者介護支援ボランティア事業の充実
- ・ 地域包括ケアシステムの構築(介護・予防・医療・生活支援・住まいの5つのサービスの提供)と先進事例の情報収集と提供→県外視察にて、認知症施策に先進的に取り組んでいる神戸市を訪問し、「事故救済制度」や「認知症にやさしいまちづくり条例」について調査→11月一般質問にて、本県の認知症施策について質す
 - 同じく県外視察にて、愛知県長久手市を訪問し、高齢者の介護予防と買い物支援を組み合わせた「買い物リハビリテーション」について調査(写真右)
- ・ 医療機関の充実と医師・看護師の確保



社会基盤の整備と再構築と環境保全で住みやすく

- ・ 県道・河川・流域下水道・県有施設の整備と保守管理
 - 昨年10月台風19号を踏まえ地元八斗島町区長からダムの事前放流の要望を受け、11月一般質問で県執行部に質す→国では事前放流の仕組みづくりが検討されているので、県も同様に利水者との調整・協議を行う
 - 11月一般質問において、H31年1月伊勢崎土木事務所に堀口町区長と連名で提出した、旧国道354号と県道伊勢崎本庄線の交差点右折帯の設置について質す→事業化の検討を進めたい(写真上)



→ すみれこども園付近を流れている粕川に、一部堤防が低い箇所があるため地元区長・農業委員と伊勢崎土木事務所で現地確認→かさ上げと河川に監視カメラ設置を要望(写真右)

- ・ コンパクトシティの研究・提案
- ・ ごみ排出量の削減
 - H30年8月福井県視察し先進事例を学び(婦人会連合会との啓発事業)、同年9月環境農林常任委員会で同様な啓発事業を展開するよう質疑と要望→H31年2月一般質問にて、予算化された広報啓発活動内容及び「食べきり協力店」について質す
- ・ 再生エネルギー普及促進



安心安全街づくりで楽しい毎日の実現

- ・ 警察行政の充実
 - 下道寺町の変則交差点に関して、同町区長及び富塚町区長、警察署、市交通政策課立ち合いのもと意見を出し合い、ポールの設置や横断歩道の塗り直しなど改修実施
- ・ 防災教育の充実や防災士資格取得の助成提案
 - H28年から県主催による防災士資格取得講座を開催(約5万円程度の助成効果)
- ・ 県に対して再犯防止推進計画策定を要望し、30年度末策定→厚生文化常任委員会県外視察で兵庫県が取り組んでいる再犯防止施策を調査
- ・ H30年2月一般質問にて、ヘルプマークの導入やインターネット犯罪防止策について質す→R元年8月ヘルプマークが県内全域で交付される



ヘルプマーク

観光立県ぐんまと世界遺産・絹遺産の活用を目指し、自然・温泉・食べ物(お土産)観光名所・文化施設等をPR!!

- R元年6月鹿児島県指宿市で行われた日本温泉協会総会にて、温泉文化をユネスコ無形文化遺産へ登録に向けた活動議案が承認される→自民党県議団の温泉文化議連のメンバー8名で応援及び意見交換に駆けつける(写真右)
- R2年2月、郷土史講演会で「国定忠治とその時代」聴講及び境赤レンガ倉庫にて「養蚕製造農家群の保存を語る会」を聴講



温泉文化議連メンバー

より開かれた県議会・議員活動の公開(ホームページの活用・県政報告書の配布)で県民の政治離れストップ

ホームページ刷新しました

- 現在まで活動内容が記載中
- 今までの県政報告書が見られます
- 生い立ち・経歴が見られます
- 政策課題と取組内容が見られます
- 後援会に入会できます
- ご要望・ご意見が書き込めます
- 平成22年の市議会の活動から平成29年4月までの活動内容が掲載中
- 過去の一般質問の内容全てが見られます
- 常任委員会・特別委員会の質疑応答が見られます
- 事務所の地図が表示されます

- H29年5月からHP活動報告を当日写真入りで掲示できるよう変更。HP上に、今までの県政報告書と一般質問を一か所にまとめ、見やすくすると共に政策反映できるよう変更
 - R元年11月6回目の一般質問、今回も200名に傍聴頂き、延べ1,200名の皆様に傍聴頂く。その前後に、本年4月から開設される県庁32階の動画スタジオや県立近代美術館に立ち寄り、県政の話題や群馬の文化など感じて頂く
- ・ 議員提案条例を増やすよう努めます
 - H30年度「林業県ぐんま県産木材利用促進条例」、「群馬県民の読書活動の推進に関する条例」、「群馬県鳥獣被害対策の推進に関する条例」が議員発議条例として制定
- ・ 県政報告会を開催しました
 - H28・29・30年と3年連続で、5月に15会場で実施。R元年度は、選挙期間中36会場で実施。R2年度は、コロナウイルス感染防止の為延期

常任委員会

昨年度は、厚生文化常任委員会委員長として、委員会運営や視察先の選定にあたりました。令和2年1月には、行田市にある「埼玉県立史跡の博物館」を訪問し古墳群の調査



埼玉県立史跡の博物館にて

研究、保存、整備、活用について調査しました。その後、ラグビーWカップで会場になった「熊谷ラグビー場」を訪れ(一面写真)、今後の施設運営を伺いながら、群馬県との連携などお願いしました。また、議会最終日には、議場で委員長報告を毎回行いました。



委員長報告

特別委員会

昨年度は、外国人との共生に関わる特別委員会に、所属しました。集住都市の浜松市など視察しました。



浜松市視察

また、外国人児童生徒への日本語教育支援、医療通訳に対する支援、県営団地に住む外国住民及び自治会への支援など質疑を通して、要望しました。

議会運営委員会

昨年度は、同会副委員長として、橋爪洋介委員長を補佐しました。市議会から通して初めて同会のメンバーとなることで、一層議会の流れを学ぶことが出来ました。



東京都議会視察

議会基本条例推進委員会

昨年度は、同会委員として若者の政治参加に関して、積極的に取り組みました。県内大学生が議会傍聴・県議との意見交換を行う「ぐんまシチズンシップアカデミー」には2回とも参加し、母校高崎経済大学生との交流を図りました。今年度は、県議会議員が大学へ出かけるよう提案し試験的に実施される予定です。また、大学生参加型選挙啓発チームへのヒアリングも参加。



大学生参加型選挙啓発チームへのヒアリング

更に、出前講座「GACHIC(ガチ)高校生×(かける)県議会議員」で県立桐生南高校へ出かけ、若者の政治への関心を高める取り組みに参加致しました。



ガチ高校生×県議会議員

賛成討論

令和2年3月6日、議場において、自民党県議団を代表して、令和元年度補正予算等の賛成討論を行いました。内容は、県庁32階に設置予定の動画・放送スタジオと連動したカフェスペースやイノベーションエリア開設事業、畜産競争力強化整備事業に関するものでした。



賛成討論

自民党群馬県連 筆頭副幹事長

初めて、県連執行部のメンバーとなりました。山本一太知事と県連執行部との朝食会、台風19号の被害支援を国会議員へ要望、県議団総務会出席など重要事項の打ち合わせや決定などの場面に居合わせる事が出来ました。



国会議員へ要望

大和 いさお プロフィール

西 暦	内 容
1964年	伊勢崎市山王町に生まれる
1976年	伊勢崎市立名和小学校 卒業
1979年	伊勢崎市立第二中学校 卒業
1982年	群馬県立桐生高等学校 卒業
1987年	高崎市立高崎経済大学 卒業
1999年	(株)プラグシティ(現ベシア電器)執行役員営業部長
2006年	伊勢崎市PTA連合会会長
2010年	伊勢崎市議会議員選挙 歴代最高得票にて当選
2015年	群馬県議会議員選挙 10,728票にて当選
2019年	群馬県議会議員選挙 11,303票にて当選
2020年(現在)	社会福祉法人 育明会(しいの実保育園・すみれこども園)事務長 あすなろ館・くるみ・あおば・たけのこ児童クラブ 代表 赤堀小学校区 リオン児童クラブ顧問 伊勢崎ロータリークラブ会員 伊勢崎合気道顧問・伊勢崎市綱引き協会 役員 伊勢崎ジュニアオーケストラ 役員 学童野球広瀬メッツOB会・少年サッカー広瀬JFC 役員



群馬県議会議員での経歴

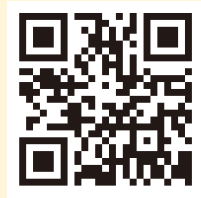
西 暦	内 容
2015年	群馬県議会議員1期 常任委員会 総務・企画常任委員会 特別委員会 観光・世界遺産特別委員会 図書・広報委員会委員
2016年	常任委員会 産経土木(産業経済土木)委員会・副委員長 特別委員会 こども未来・県民総活躍に関する委員会
2017年	常任委員会 厚生文化常任委員会・副委員長 特別委員会 ぐんまの暮らしづくりに関する特別委員会 議会基本条例推進委員会委員/群馬県都市計画審議会委員
2018年	常任委員会 環境農林常任委員会 特別委員会 県産品需要拡大に関する特別委員会
2019年	群馬県議会議員2期 常任委員会 厚生文化常任委員会 委員長 特別委員会 外国人との共生に関する特別委員会 議会基本条例推進委員会委員 議会運営委員会副委員長 決算特別委員会副委員長 自民党役職 県連筆頭副幹事長



県議会議員 大和 勲 事務所 ～ 伊勢崎・群馬のために ～

伊勢崎市山王町1142-6(あすなろ館児童クラブ内)
電話 0270-23-7797 FAX 0270-27-5260
メールアドレス info@isao-y.net ホームページアドレス http://www.isao-y.net/

大和 勲
検索



HP QRコード